

看護学方法論Ⅳ（ルーブリック）

	期待している 以上である	十分に満足できる	やや努力を要する	努力を要する	相当の努力を要する
フィジカルアセスメントの概念と看護における意義が説明できる	看護におけるフィジカルアセスメントの重要性を十分に説明でき、継続して学習し続けている	フィジカルアセスメントと看護における意義が十分に説明できる	フィジカルアセスメントと看護における意義が概ね説明できる	フィジカルアセスメントについて一部は説明することができる	フィジカルアセスメントについて説明することができない
身体の構造と機能への理解（解剖・生理学への理解）	身体の構造と機能に深い理解があり、他の知識とむすびつけて適用できる	身体の構造と機能を十分に理解している	身体の構造について名称等、一般的な理解はある	身体の構造と機能に基本的な理解がやや不足している	身体の構造と機能に基本的な理解がかなり不足している
フィジカルアセスメント（血圧測定、聴診など）の実施能力	基本技術を正確かつ丁寧に実施でき、十分なアセスメントも実施できる	基本技術を正確に実施でき、一部のアセスメントが実施できる	基本技術は正確に実施できる	一部の基本技術のみが実施できる	すべての基本技術を実施できない
フィジカルアセスメント実施時の態度と対象者への配慮	対象者への配慮のみならず環境も含めた観察が高い水準で行える	対象者への適切な配慮ができています	技術の実施はできるが、対象者への配慮に改善の余地がある	技術の実施も含め、対象者への配慮に改善の余地がある	注意深さがほとんどなく、実施も含め、対象者への配慮が不足している
知識の適用および応用能力	習得した知識と技術を応用してモデル人形で実践することができる	習得した知識と技術をモデル人形である程度実践することができる	習得した知識と技術をモデル人形で応用することはできない	一部の知識や技術に習得が不足しているものがある	基本的な知識が不足しており、理解が不十分である